



はにたんの

おしえて みらい創生

はにたんが、もの知りの「みらいちゃん」に、市の今後について教えてもらいます。

vol.4 高槻市の公共施設



みらいちゃん

はにたん 昭和40年代に、市の人口は3倍に増えたんだよね。

みらいちゃん そうだよ。学校や道路、水道などの公共施設などを短期間に整備することになったの。この期間に市の基盤が作られたのよ。

でも、こうした人口急増期に整備した公共施設などは老朽化が進んでいて、今後対策を行う必要があるの。

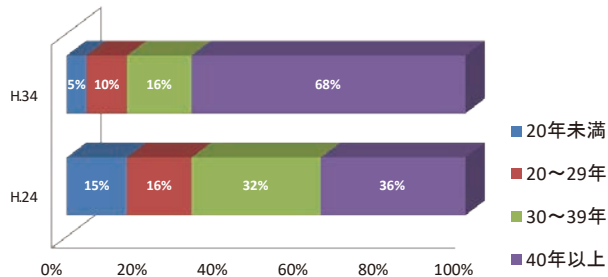
はにたん 確かに、このグラフでは、年数が経っている施設が多いよね。対策って、どんなことをするの？

みらいちゃん 例えば、今使っている空調設備などが古くなってきたら、新しいものに替えないといけないよね。ほかにも、今の建物を取り壊して建て直したり、古くなった舗装を直したり、上下水道管を新しいものに交換したり、いろいろあるの。市の施設全てでこうした更新を行うためには、今後40年で約4,700億円の費用が必要だと言われているよ。

はにたん そんなに多くのお金が必要なんだ。市の財政が大変になるんじゃない？

みらいちゃん そうなんだ。「みらい創生」の中では、将来市の財政が危機を迎えることを想定しているの。減っていく人口に合わせて、今ある施設のうちどれが必要になっていくのか、長期的な視野に立った判断が必要なんだよ。

公共建築物の築年数の割合



※端数処理を行っているため合計などが一致しない場合あり

市公共施設等総合管理計画(平成27年11月)より